

(様式)

情報学委員会分科会の設置について

分科会等名：ユビキタス状況認識社会基盤分科会

1	所属委員会名	情報学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	ユビキタスコンピューティングとは、遍在的にコンピュータ要素を環境中に組み込むことにより「いつでも、どこでも、誰でも」コンピュータの情報処理能力を利用できるようにする技術体系のことを指す。それによって目指すのは、状況に応じた最適化サービスの提供であり、経済社会の根幹をなす物やサービスの流通、地域の安全・安心、地域密着型のきめ細かい公共サービス、大規模災害の迅速な対応など、国民生活や活動において大きな改革をもたらすことが期待されている。 このような実空間と仮想空間が一体となる環境の実現は、技術的にはすぐそこに見えているといえるが、応用や組織を超えた真の意味での実現のためには、物の属性情報と時空間情報を統合した状況情報（ユビキタス空間情報）の土台となるオープンでユニバーサルな情報社会基盤を確立する必要がある。 本研究分科会では、このようなユビキタス社会の要となるユビキタス状況認識社会基盤の在り方について、関連研究分野の広い連携を得つつ、3.11以降の社会的課題や学問的要請も十分に考慮しながら、産官学を越えた俯瞰的な情報学の観点から審議を行い、それに基づき社会的な提言を行うことを目的とする。
4	審議事項	(1) 複数の識別体系、空間・時間参照系の連携を可能とする基盤の実現 (2) 場所定義とその識別子を明示的に付与することを推進する法体系の整備 (3) 時空間情報を利用する情報検索基盤技術の開発と実装の促進 (4) 日本発のイノベーション技術として国際標準化の推進 (5) 物・場所の属性情報の信頼性やプライバシーの担保のための社会的制度等
5	設置期間	時限設置 年 月 日～ 年 月 日 常設
6	備考	前期までの審議活動をさらに発展させ、特に、空間と物の両方を認識するための基盤構築を目指す観点から分科会名も更新し、新たな視点からの審議を行う。